

設 計 書

令和8年度上石川配水管新設工事その2

鹿 沼 市 上石川
工 期 138 日

設 計 概 要

施工延長 L=535.0m

・配水管布設 PE φ 50 L=533.7m

・制水弁設置 制水弁 φ 50 8基

検算者

設計者

鹿 沼 市 役 所

(甲－ 1)

設 計 書

事業費 円

変 更 前 回 実 施			変 更 今 回		
設 計 額	工 事 価 格		設 計 額	工 事 価 格	
	消 費 税			消 費 税	
	請負工事費			請負工事費	
請 負 額	請 負 価 格		請 負 額	請 負 価 格	
	消 費 税			消 費 税	
	請 負 代 金			請 負 代 金	
請 負 率			増 減 額		
変 更 理 由					

内 訳	
工 事 費	円
本工事費 (内消費税相当額	円 円)
用 地 費	円
補 償 費	円
測 試 費	円
事 務 費	円

土木工事仕様書

令和8年5月1日適用

I 共通仕様

1. 工事仕様

受注者は、工事内容に応じ、以下の共通仕様書に準拠し施工すること。なお、内容等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

(1) 道路工事、河川工事、公園工事及びこれらに類する工事

○栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/town/koukyoujigyou/kensetsu/r08kyoutuusiyousyo.html>

(2) 水道工事（導水管、送水管及び配水管）及びこれらに類する工事

○公益社団法人日本水道協会発行の水道工事標準仕様書

○栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/town/koukyoujigyou/kensetsu/r08kyoutuusiyousyo.html>

(3) 下水道工事及びこれらに類する工事

○公益社団法人日本下水道協会発行の下水道土木工事必携(案)

○栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/town/koukyoujigyou/kensetsu/r08kyoutuusiyousyo.html>

(4) 治山工事、林道工事及びこれらに類する工事

○栃木県環境森林部発行の土木工事共通仕様書

https://www.pref.tochigi.lg.jp/d08/documents/20260401_dobokukyoutuushiyousho.html

○栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/town/koukyoujigyou/kensetsu/r08kyoutuusiyousyo.html>

(5) 土地改良工事、農道整備工事及びこれらに類する工事

○栃木県農政部発行の土木工事共通仕様書

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g02/kyoutuusiyousyo.html>

○栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/town/koukyoujigyou/kensetsu/r08kyoutuusiyousyo.html>

2. 下請業者の選定

受注者は、一次下請業者を選定する際、当該建設業者の社会保険等加入状況を確認のうえ、社会保険等に加入している建設業者を選定しなければならない。なお、二次下請以下の建設業者についても、原則、社会保険等に加入している建設業者を選定すること。

3. 工事看板の設置基準

工事看板の設置基準は、以下の URL を参照すること。

○鹿沼市 HP: <https://www.city.kanuma.tochigi.jp/manage/contents/upload/69fbf4f8e1f7b.pdf>

Ⅱ 特記仕様

1. 工事資料の提出

受注者は、工事資料の作成にあたり、別紙「鹿沼市工事資料一覧表」を参照するとともに、「鹿沼市電子納品運用ガイドライン」を遵守のうえ、成果品を電子納品すること。

2. 法定外労災保険の付保

受注者は、本工事において法定外労災保険に付さなければならない。法定外労災保険とは、業務や通勤に起因した労働者の負傷、疾病、障害、死亡等に対して、労働者災害補償保険法（労災保険法）による労災補償給付とは別に、企業が独自の立場から保障給付の上積みを行うための保険をいう。

3. 週休2日制工事

本工事は、「現場閉所による通期の週休2日」に取り組むことを前提とした発注者指定型の土木工事である。受注者は契約後、「週休2日制工事の実施計画書（様式第1号）」により発注者と協議したうえで週休2日制工事に取り組むこと。

4. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事である。実施にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行について（令和元（2019）年度7月19日付け技管第159号）」に基づき行うものとする。（栃木県 HP：<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/20190718.html>）

5. その他

別紙特記仕様書による。

Ⅲ 施工条件

1. 安全対策関係

（1）交通誘導警備員の配置

本工事は、車両・歩行者の通行の影響を受けるため、交通誘導警備員を別紙のとおり配置する必要がある。

2. 建設副産物関係

(1) 建設発生土の処分

受注者は、本工事における建設発生土を工事仕様及び関連する法令に基づき適正に処分しなければならない。本工事における建設発生土の処分場所は以下を見込んでいるが、処分場所や処分費用に変更が生じた場合は、別途協議する。

○処分場所: 鹿沼市深津 269-1 運搬距離 3.9km

(2) 舗装版の切断時に発生する濁水の適切な処理

受注者は、本工事におけるカッター切断作業により発生する濁水を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和 45 年法律第 137 号)」に基づき適正に処理しなければならない。また、以下の処理施設は積算上の条件を明示するためのものであり、処理施設を指定するものではない。なお、濁水の処理量は設計変更の対象とする。

○積算上の処理施設: (株)セルクリーンセンター(宇都宮市平出工業団地 45-17) 運搬距離 15.7km

3. その他

(1) 埋戻工及び路盤工の締固めについて

受注者は、本工事において発生土の埋戻しを行う際、一層の仕上がり厚を 20cm 以下とし、タンバ等で十分締固めること。また、路盤工を行う際は、一層の仕上がり厚を 15cm 以下とし、所定の機械で締固めること。

鹿沼市工事資料一覧表

R2. 2. 1

※1 1. 提出書類

No.	工 事 資 料 名	500万円未満※4	検査資料	500万円以上	検査資料	備 考
1	施工体系図	△	△	△	△	建24の7、建則14の6、仕1-1-1-10
2	施工体制台帳	△	△	△	△	建24の7、建則14の6、仕1-1-1-10
3	再生資源利用・利用促進(実施)書(計画書は施工計画書)、データ※6	○※3	●	○	●	仕1-1-1-18、栃木県建設副産物管理基準
4	建設副産物処理承認申請書・同処理調書(産廃処理業者及び収集運搬業者の許可証と契約書写し、処理場等書類と写真添付)	-	-	○	●	仕1-1-1-18、栃木県建設副産物管理基準
5	設計図書照査表	△	△	○※2	●	契19、仕1-1-1-3
6	工事履行報告書(工事実施工程表含む): 毎月	-	-	○	●	契13、仕1-1-1-24
7	工事打合せ簿総括表、工事打合せ簿(指示・協議・通知・承諾・提出・報告・その他)	○※7	●	○※7	●	契11Ⅱ④
8	確認・立会願・段階確認書(状況写真添付)	-	-	○	●	契11Ⅱ③、仕3-1-1-6
9	工事写真(電子データ)※8	○	●	○	●	契約16、鹿沼市電子納品ガイドライン
10	使用材料報告書(承認願)(再生クワジヤラム(RC材)骨材品質確認状況報告書含む)	○	●	○	●	契15、再生材の利用基準
11	施工計画書(再生資源利用・利用促進計画書含む)	○※3	●	○	●	仕1-1-1-4、土木工事施工計画書作成の手引き
12	施工管理報告書(品質管理、出来形管理)	○	●	○	●	仕1-1-1-23(出来形・品質)
13	台帳関係(舗装・橋梁・照明・標識等)、工事完成図	該当がある場合				仕1-1-1-19、特記仕様書
14	電子納品成果品(事前協議チェックシート、電子媒体納品書含む)	電子納品範囲については監督員との協議による				鹿沼市電子納品ガイドライン
15	その他	監督員が必要と認める資料				
		○:作成資料 ●:検査で確認する資料 △:該当する場合に作成する資料(検査で確認)				

・様式については栃木県土木工事共通仕様書様式集を参照する。

※1 提出書類とは、施工に伴い作成する資料であって、完成時には現場とともに引き渡す書類である。

※2 様式総一3のうち、『栃木県建設工事(変更)請負契約書第19条第1項及び』の記載を削除する。

※3 500万未満の施工計画書に記載する事項

- 1 工事概要
- 2 現場組織表
- 3 緊急時の施工体制及び対応
- 4 再生資源利用・利用促進(計画)書
- 5 その他(請負者・発注者が工事施工上必要な事項)

※4 請負額100万円未満の工事資料については、工事写真と出来形のわかる資料とする。(施工計画書等は不要)

※6 建設副産物情報交換システム(COBRIS)を利用して登録した場合は、電子データの提出不要。
電子データで提出する場合、国土交通省のホームページより配布している様式(Excel版)で作成する。

※7 「通知」「提出」「報告」「届出」は、電子メールでの提出も可とする。この場合、メール文を印刷することで発議者の押印は省略する。(処理・回答の決裁は必要)提出の頻度は、月に2回程度を標準とし、監督職員との協議により決定する。「指示」「協議」に関する工事打合せ簿は、従来通りの扱いとする。

※8 インデックスプリントは監督員が指示した場合作成する。(省略する場合は、検査時に電子データ(写真等)を確認できる用意をする。)

注)

建	建設業法
建則	建設業法施工規則
廃掃	廃棄物処理法
安	労働安全衛生法
安則	労働安全衛生規則
労基	労働基準法
土指針	土木工事安全施工技術指針
契	鹿沼市建設工事請負契約書
仕	栃木県土木工事共通仕様書
考査	考査項目別運用表

※5 2. 請負者手持ち資料(検査を受けた年度の翌年から5年間保存)

No.	工 事 資 料 名	検査資料	備 考
1	安全教育実施記録簿(写真添付)		仕1-1-1-26
2	産業廃棄物マニフェスト	△	廃掃12の3、仕1-1-1-18
3	建退共証紙購入報告書・建退共証紙受払簿		仕1-1-1-40
4	有資格者証写し一覧表(元請け、下請け)		安4、安則16
5	新規入場者教育実施記録簿(状況写真添付)		安則15
6	KY 活動等実施記録簿(状況写真添付)		安則24の11
7	重機等の検査証写し及び点検記録簿(自主点検票写真)		安則169
8	重機作業における誘導員及び人との分離措置状況写真		安則158
9	作業員名簿(自社・下請)		労基107
10	社内パトロール実施記録簿(状況写真添付)		考査
11	保安施設記録資料		土指針2-2,3
12	山留め、仮締切等の設置後点検記録		安則375
13	足場、支保工等の設置後点検記録		安則567
14	安全協議会等の実施記録簿(状況写真添付)		考査
15	各種安全パトロール指摘事項は正報告書		考査
16	舗装切取りコア等(500㎡未満で異常が認められない場合には不要、確認は納入伝票等で行うものとする。)	△	仕1-1-1-23(出来形・品質)
17	工事カルテ(請負額500 万円以上)		仕1-1-1-5
18	交通整理員集計表及び伝票	△	仕1-1-1-23(出来形・品質)
19	創意工夫提案資料(状況写真添付)		考査
20	各機関等許可証等		仕1-1-1-35
21	地域コミュニケーション、ボランティア活動記録(状況写真添付)	△	考査
		△該当がある場合は(検査で確認する資料)	

※5 請負者手持ち資料とは、発注者に提出を要しないもの。ただし、施工段階あるいは完成検査時に、必要に応じて確認を求めることがあるもの。(原本・原稿等提示)

特 記 仕 様 書

(鹿沼市配管工事標準仕様書)

(令和 8 年 4 月改定)

鹿 沼 市 上 下 水 道 部

鹿沼市配管工事標準仕様書

目 次

第 1 章 総則	・ ・ ・ ・ ・	2
1-1. 適用範囲	・ ・ ・ ・ ・	2
1-2. 疑義の解釈	・ ・ ・ ・ ・	2
第 2 章 材料	・ ・ ・ ・ ・	2
2-1. 材料の規格	・ ・ ・ ・ ・	2
2-2. 材料の検査	・ ・ ・ ・ ・	2
2-3. 合格品の保管	・ ・ ・ ・ ・	2
第 3 章 管布設工事	・ ・ ・ ・ ・	3
3-1. 布設位置等	・ ・ ・ ・ ・	3
3-2. 測点	・ ・ ・ ・ ・	3
3-3. 土工	・ ・ ・ ・ ・	3
3-4. 管布設工	・ ・ ・ ・ ・	4
3-5. 通水準備工	・ ・ ・ ・ ・	5
3-6. 水圧試験	・ ・ ・ ・ ・	5
3-7. 消火栓設置工	・ ・ ・ ・ ・	5
3-8. 舗装工	・ ・ ・ ・ ・	6
3-9. 工事記録写真	・ ・ ・ ・ ・	6
3-10. 完成図	・ ・ ・ ・ ・	6
3-11. 伝票	・ ・ ・ ・ ・	6
別紙（消火栓蓋設置方向，消火栓及び防火水槽リードライン）	・ ・ ・ ・ ・	7

第 1 章 総 則

1-1. 適用範囲

1. 本仕様書は、鹿沼市上下水道部が発注する配管工事に適用する。
2. 工事は、(鹿沼市) 土木工事仕様書及び本仕様書により施工するものとする。
3. 土木工事仕様書と本仕様書の定めが異なるときは、本仕様書を優先するものとする。

1-2. 疑義の解釈

1. 設計図書及び仕様書（特記仕様書を含む）に疑義が生じた場合は、発注者の解釈による。
2. 設計図書、仕様書に明示されていない事項があるとき、または内容に相互符号しない事項があるときは、発注者と請負者が協議して定めるものとする。

第 2 章 材 料

2-1. 材料の規格

工事に使用する材料は、日本産業規格（JIS）、日本農林規格（JAS）、日本水道協会規格（JWWA）、日本ダクタイル鉄管協会規格（JDPA）、配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格（PTC）及び給水システム協会（WSA）等に適合したものとする。

2-2. 材料の検査

1. 工事用材料は、使用前にその品質、寸法または見本品について監督職員の検査を受け、合格したものとする。
2. 不合格品は、直ちに現場より搬出する。

2-3. 合格品の保管

工事用材料の合格品は、請負者の責任において変質、不良化しないよう保管する。

第 3 章 管布設工事

3-1. 布設位置等

管布設位置、仕切弁等設置位置及び土被りは設計図書を参照し、監督職員と協議のうえ決定すること。

3-2. 測点

監督職員と協議のうえ、起点から 50m もしくは 30m ごとに測点を設定し、施工管理、写真管理等は、これを基準にして行うこと。また、舗装構成が変化する箇所、特殊材料使用箇所等、必要に応じ中間点を設定し管理を行うこと。

3-3. 土工

3-3-1. 掘削工

1. 配管及び接合作業が完全にできるよう、設計図書をもとに所定の形状に掘削すること。
その際、地上及び地下の施設物に損傷を与えることがないように十分注意すること。
2. 機械掘削の場合でも、施工基面は人力で仕上げること。
3. 湧水のある箇所の掘削については、土留、排水等を適切に行うこと。

3-3-2. 埋戻工

1. 砂による埋戻しは、片埋めにならないよう注意し、十分締固めること。
2. 発生土埋戻しは、一層の仕上がり厚を 20cm 以下とし、タンパ等で十分締固めること。
3. 砕石埋戻しの場合も、発生土埋戻しと同様とする。
4. 埋戻しに際しては、管その他の構造物に損傷を与えたり、管の移動を生じたりしないよう注意し、管側面部及び底部に空隙が生じないように施工すること。

3-3-3. 建設副産物

建設廃棄物については、再資源化施設へ搬出し適正に処理すること。また、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の E 票を監督職員に提示すること（工事完了検査までに E 票を回収できない場合は、B 票を提示すること）。なお、交付・回収したマニフェストは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を踏まえ、適切に保存すること。

3-4. 管布設工

3-4-1. 施工資格

1. ダクタイル鋳鉄管（φ450mm以下）の配管・継手作業に従事する者は、次のいずれかの資格を有している者（講習会等を修了した者）でなければならない。
 - ①日本水道協会「配水管工技能講習会（小口径管）」
 - ②日本ダクタイル鉄管協会「継手接合研修会（耐震管 呼び径 450 以下）」
 - ③その他発注者が認めた配管技術者
2. ダクタイル鋳鉄管（φ500mm以上）の配管・継手作業に従事する者は、次のいずれかの資格を有している者（講習会等を修了した者）でなければならない。
 - ①日本水道協会「配水管工技能講習会（大口径管）」
 - ②日本ダクタイル鉄管協会「継手接合研修会（耐震管 呼び径 500 以上）」
3. 水道配水用ポリエチレン管の配管・継手作業に従事する者は、次のいずれかの資格を有している者（講習会等を修了した者）でなければならない。
 - ①配水用ポリエチレンパイプシステム協会「水道配水用ポリエチレン配管施工講習会」
 - ②水道配水用ポリエチレン管製造メーカーの施工講習会
4. ダクタイル鋳鉄管及び水道配水用ポリエチレン管の配管・継手作業に従事する者は、施工前に上記の証明書または資格証の写しを提出すること。

3-4-2. 管の据付け

1. 水道工事標準仕様書（日本水道協会）及び各協会等の施工要領等に従い、厳格に施工すること。
2. 施工中、管内部に土砂等が混入しないよう適切な処理（仮蓋等）をすること。
3. 管の据付けに先立ち、十分管体検査を行い、使用上有害な欠点（亀裂、その他の欠陥）を発見した場合は、その部分を切断切除するか、または、使用しないこと。
4. 水道配水用ポリエチレン管は、融着接合中に停電等の異常が発生した場合、継手の再使用や再融着は行わないこと。
5. ポリエチレン管等において圧着施工を行った場合は、施工部を補強（保護）すること。

3-4-3. 継手の管理

1. ダクタイル鋳鉄管及び水道配水用ポリエチレン管の施工においては、チェックシートを作成し、全ての接合箇所において必要事項を記入し管理すること。記入したチェックシートは、完成図書に添付すること。
2. 水道配水用ポリエチレン管は、融着接合箇所に、日付・融着終了時刻・冷却終了時刻を記入すること。

3-4-4. 既設管との接続等

1. 接続する既設管の位置、管種、口径等を調査し、監督職員と十分協議のうえ、監督職員の指示・立会いのもと円滑に作業を進めること。なお、バルブを操作する場合には、必ず監督職員の指示のもと行うこと。
2. 特に、断水が伴う場合は、監督職員の指示のもと迅速かつ確実に施工すること。また、事前に影響箇所への周知を徹底すること。

3-4-5. 管明示工

1. 本管には、設計図書に基づき明示テープを貼りつけること。また、管路を埋戻す際に埋設シート及び水道用マーカーピンを設置すること。給水管には、道路部に限り管路を埋戻す際に埋設シートを設置すること。
2. 埋設シートの設置は、管上 30cm を標準とする。水道用マーカーピンは、延長 25m 毎及び折れ点や分岐部等に 40～60cm 程度の深さに設置すること。
3. マーカーピンによる埋設シートの固定は行わないこと。

3-4-6. 給水管

布設替工事等により給水管を布設する場合や配水管から分岐をする場合は、別に定める「鹿沼市給水装置工事標準仕様書」に準拠すること。

3-5. 通水準備工

1. 充水作業前に、管内を十分清掃するとともに残存物が無いことを確認すること。また、弁類等に異常が無いことも確認すること。
2. 排水施設等から十分な泥吐き及び空気抜きを行うこと。なお、バルブを操作する場合には、必ず監督職員の指示のもと行うこと。
3. バルブを開ける際には、完全に開けた状態から閉方向へ半回転させること。

3-6. 水圧試験

配管終了後管内を充水し、0.75MPa（もしくは 7.7Kg/cm²）の水圧において試験を行い、監督職員の確認を受けること。ただし、自然水圧が 0.75MPa（もしくは 7.7Kg/cm²）以上の場合は、0.1MPa（もしくは 1.0Kg/cm²）加圧すること。

3-7. 消火栓設置工

1. 消火栓の開閉は、旧鹿沼市内と旧栗野町内で異なるので注意すること。
 - ・旧鹿沼市内・・・右回り開き
 - ・旧栗野町内・・・左回り開き
2. 消火栓鉄蓋の開閉方向は、車道の進行方向に対し平行に蓋が開くように設置すること（別紙「消火栓蓋設置方向」参照）。歩道に消火栓を設置する場合も同様とする。
3. 消火栓リードラインは、別紙「消火栓及び防火水槽リードライン」を参照すること。
4. 消火栓及び補修弁の使用材料は、ステンレス製とすること。また、鹿沼市消防本部からの材料承認を得ること。

3-8. 舗装工

1. 路盤工については、一層の仕上がり厚を 15cm 以下とし、所定の機械にて締固めること。
2. アスファルト舗装工（仮復旧・本復旧）については、一層の仕上がり厚を 7cm 以下とし、所定の機械にて締固めること。
3. アスファルト舗装工の施工にあたっては、プライムコート及びタックコートを設計図書による使用量を均一に散布すること。また、縦継目、横継目及び構造物との接合面に瀝青材料を薄く塗布すること。
4. 路盤及びアスファルト舗装の現場密度を測定し、試験成績表を提出すること。測定箇所数（データ個数）については、監督職員の指示によるものとする。
5. 舗装復旧については、即日復旧とする。やむを得ず舗装復旧まで完了しない場合は、監督職員と協議すること。

3-9. 工事記録写真

1. 着手前・完成、使用材料、品質・出来形管理、施工状況等工事の経過及び管理状況が全て確認できるよう、写真にて記録し提出すること。
2. 接合部は、全ての箇所において施工が良好である事が確認できるよう記録し提出すること。

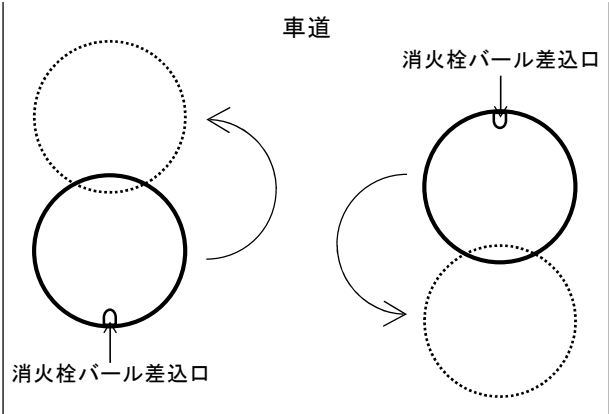
3-10. 完成図

管路施設の詳細が確認できる図面を作成し、提出すること。また、制水弁及び消火栓等については、位置が確認できる図面（路肩構造物等からの距離等）を作成し、提出すること。

3-11. 伝票

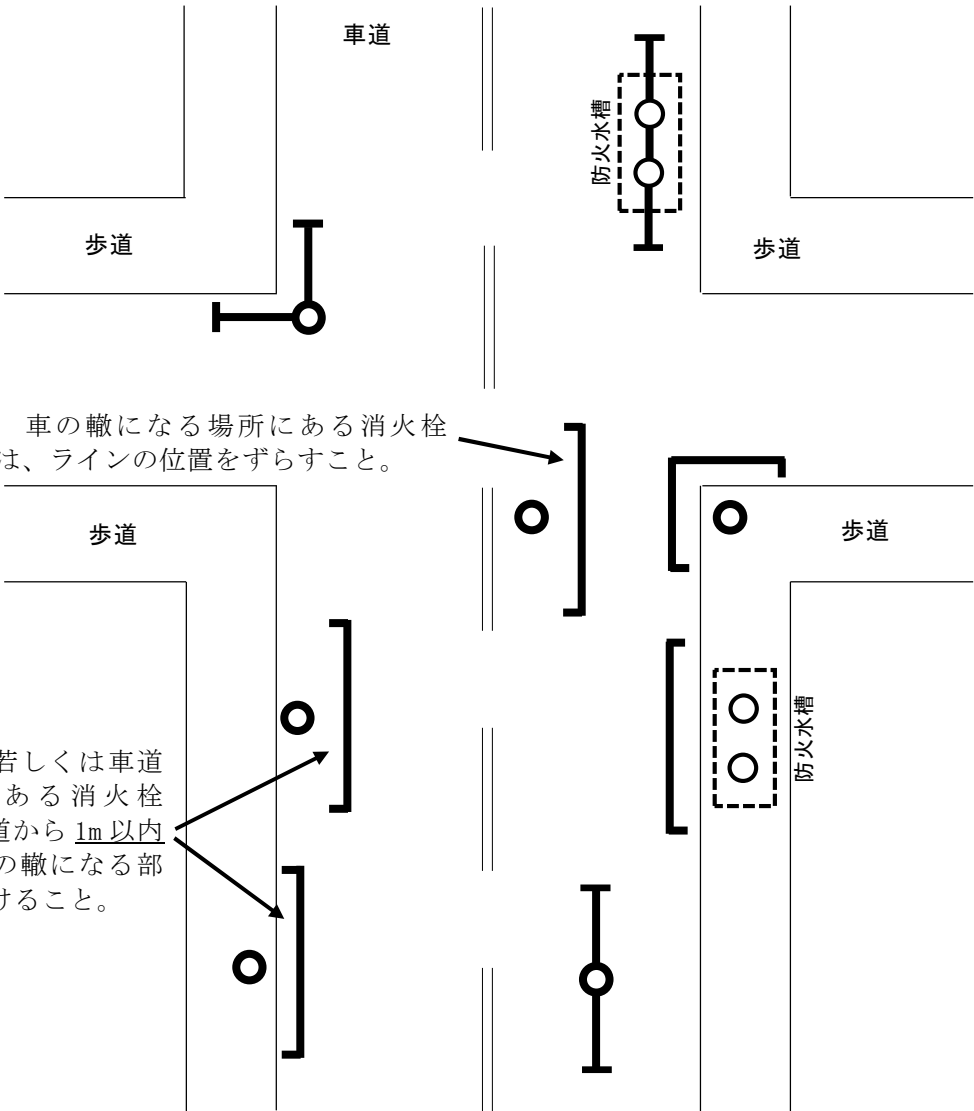
使用材料の納入伝票は、完了検査時に検査員から提示（提出）要請があった場合は、速やかに提示（提出）すること。

消火栓蓋設置方向



消火栓及び防火水槽リードライン

リードラインは、黄色幅 15cm、長さ 10m、縦 50cm とする。



特記仕様書

交通誘導警備員については、警備業法による警備員とし配置場所は監督員と協議するものとする。
なお、警備員は、下記のとおり延べ 50人 見込んでいるが、警察等の協議により変更が生じた場合等は別途協議する。

区分	現場条件	交通誘導警備員A			交通誘導警備員B		
		日数	配置人員	人数	日数	配置人員	人数
1	昼間勤務 (8:00～17:00)				25	2	50
2	夜間勤務 (20:00～5:00)						
3	24時間勤務						

特記仕様書

中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更

1. 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材(以下、「調達検討資材」)の調達に必要な経費(以下、「別途調達経費」)について、設計変更を行う対象工事である。
2. 対象とする調達検討資材は、受注者からの発議に基づき監督職員と協議(第1回協議)の上決定するものとする。
3. 受注者は、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員と協議(第2回協議)するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、以下を想定している。

 - ① 調達検討資材の代替資材を調達した場合
 - ② 調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
 - ③ 調達検討資材を調達した場合(ただし別途調達経費を含む)
4. 受注者は、別途調達経費に係る証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

積 算 情 報 表

(0800000531-0)

P. 3

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施	冬期・熱中症対策補正	なし
変更回数	当初	夜間補正区分	0 = 補正なし
積算基準年度	『令和8年度国交省基準 R8.4適用(R7週休2日制)』	夜間補正率	0%
設計書番号	0800000531-0	配管工加算有無	2 = 無し
当初・変更区分	0	配管工加算率	0%
施行主体名	鹿沼市	工期日数	138日
設計書名(1行目)	令和8年度上石川配水管新設工事その2	工期	
設計書名(2行目)			
設計書名(3行目)			
路線・河川名			
工事番号			
単価適用地区	21 鹿沼土木事務所管内		
単価適用日付	令和08年07月10日 (78)		
適用率	01 開削工事及び小口径推進工事等		
共通仮設費補正	一般交通影響あり②		
現場管理地域補正	一般交通影響あり②		
前払金支出割合区分	35%超え (補正なし)		
現場環境改善費	0 = 無し		
現場環境改善費地域			
週休2日の補正	0 : 補正しない		
(週休2日) 交替制工事	0 : なし		
契約保証費率	金銭的保証		

< 概 要 >

- 施工延長 L=535. 0m
- ・ 配水管布設 PE φ 50 L=533. 7m
 - ・ 制水弁設置 制水弁 φ 50 8基

本 工 事 内 訳 表									
費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	配水管布設工								
		配水管布設工		本管	式	1			
			本管材料費	PE φ 50	式	1			第1号明細表
			本管布設工	PE φ 50	式	1			第2号明細表
			本管等土工		式	1			第3号明細表
			本管等舗装工		式	1			第4号明細表
			安全費	交通整理員配置	式	1			第5号明細表
	合 計								

本 工 事 内 訳 表									
費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	直接工事費								
		対象外費			式	1			
			管材費		式	1			
		対象額							
		率計算分			式	1			
		技術管理費			式	1			第6号明細表
	共通仮設費計								
	純工事費								
		対象外費			式	1			
		対象額							

本 工 事 内 訳 表									
費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	現場管理費				式	1			
	工事原価								
		対象額							
		一般管理費			式	1			
		契約保証費			式	1			
	一般管理費計								
	工事価格								
	工事価格計								
		消費税等相当額			式	1			
	本工事費								

第1号の1 A00000 A01

本管材料費 1式当たり明細表

PE φ 50

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ポリエチレン管	φ 50 軟質2層管	m	533.7				FPP005, 管材
PE用ナール分水栓	φ 75× φ 50 メーターユニオン/パッキン含む	組	3				第1号単価表
PE用ソケット	φ 50 コア一体型	個	10				FKS005, 管材
PE用エルボ	φ 50 コア一体型	個	2				FKL005, 管材
砲金制水弁 P × P 材料	φ 50mm × φ 50mm	箇所	7				第2号単価表
砲金制水弁 P × キャップ 材料	φ 50mm	箇所	1				第3号単価表
制水弁筐	浅層埋設用(中型) 口径/管種表示付	個	8				EV0011
座台	各タイプ共通	枚	8				EVZ000
埋設シート	W=150 2倍折込 水道用	m	533.7				EZ0001
明示テープ	年度表示付 水道用	m	80.1				EZ0002

第2号 A00003 A01

本管布設工 1式当たり明細表

PE φ 50

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ポリエチレン管据付工	呼び径50mm	m	533.7				第4号単価表
ポリエチレン管継手工	呼び径50mm	口	43				第5号単価表
サドル分水栓建込み工	ポリエチレン管 配水管呼び径75mm 給水管呼び径50mm	箇所	3				第6号単価表
制水弁/止水栓設置工	PP用 制水弁/止水栓のみの取付 呼び径 φ 50mm	箇所	8				第7号単価表
仕切弁・空気弁ボックス設置工	ねじ式弁筐 A・B形 1号 底版有り	箇所	8				第8号単価表
管明示シート工		m	533.7				第9号単価表
管明示テープ工(ポリエチレン 管布設工)	呼び径50mm	m	533.7				第10号単価表
合 計		式	1				

第3号の1

本管等土工 1式当たり明細表

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	550.4				第11号単価表
舗装版取壊し積込工	舗装厚0cm超え10cm以下	m ²	188				第12号単価表
バックホウ掘削積込		m ³	315				第13号単価表
管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)	ﾀﾝﾊﾟ 締固め 砂	m ³	98				第14号単価表
管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)	ﾀﾝﾊﾟ 締固め 発生土	m ³	127				第15号単価表
発生土処理	DID区間無し 路面状態良好 運搬距離3.9km	m ³	188				第16号単価表
処分費	発生土	m ³	188				第17号単価表
アスファルト塊処理	DID区間無し 路面状態良好 運搬距離4.1km	m ³	9				第18号単価表
処分費	アスファルト	m ³	9				第19号単価表
舗装版切断運搬費 (汚泥)	2 t 車 片道25kmまで	m ³	0.6				

第3号の2 本管等土工 1式当たり明細表							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
処分費	舗装版切断汚泥	m 3	0.6				第20号単価表
合 計		式	1				

第4号

本管等舗装工 1式当たり明細表

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
路盤工	舗装幅1.8m未満 再生クラッシャーラン RC-40 路盤厚45cm(3層)	m ²	29				第21号単価表
路盤工	舗装幅1.8m未満 再生クラッシャーラン RC-40 路盤厚40cm(3層)	m ²	188				第22号単価表
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 t≤50 t=50mm エコスラグ入再生密粒度アスコン(20)	m ²	188				第23号単価表
合 計		式	1				

第5号		安全費 1式当たり明細表					交通整理員配置						
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
交通誘導警備員の計上		交通誘導警備員 B		式	1							第24号単価表	
合 計				式	1								

第6号 技術管理費 1式当たり明細表							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
通水試験工	給水車不要	日					第35号単価表
残土処理にともなう土壌試験	試料採取作業	箇所	1				
残土処理にともなう土壌試験	試験費（報告書作成を含む）	式	1				
合 計		式	1				

第1号 JZ10020 J10

PE用サドル分水栓 1組当たり単価表

 $\phi 75 \times \phi 50$
メーターユニオン/パッキン含む
滑り止め付き

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
PE用鋳鉄サドル分水栓(ボール式)	$\phi 75 \times \phi 50$	個	1				FES035, 管材
PE用メーターユニオン	$\phi 50$ コア一体型	個	1				FKM005, 管材
パッキン	$\phi 50$	個	1				FP0005, 管材
合 計		組	1				

第2号 JZ00410 J09

砲金制水弁 P × P 材料 1箇所当たり単価表

φ 50mm × φ 50mm

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
砲金制水弁	φ 50	個	1				FS0005, 管材
PE用メーターユニオン	φ 50 コア一体型	個	2				FKM005, 管材
パッキン	φ 50	個	2				FP0005, 管材
合 計		箇所	1				

第3号 JZ00410 J11

砲金制水弁 P×キャップ 材料 1箇所当たり単価表

φ 50mm

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
砲金制水弁	φ 50	個	1				FS0005, 管材
PE用メーターユニオン	φ 50 コア一体型	個	1				FKM005, 管材
パッキン	φ 50	個	1				FP0005, 管材
PE用キャップ	φ 50	個	1				FKK005, 管材
合 計		箇所	1				

第4号 JS20610 J04		ポリエチレン管据付工 10m当たり単価表						呼び径50mm 2-6-1, 2	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員				人					RA005
普通作業員				人					RA010
合 計				m	10				
単位当り				m	1				

第5号 JS20612 J06		ポリエチレン管継手工 1口当たり単価表					呼び径50mm 2-6-1, 2	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
特殊作業員		人					RA005	
普通作業員		人					RA010	
諸雑費		%						
合 計		口	1					

第6号 JS53204 J06		サドル分水栓建込み工 1箇所当たり単価表					ポリエチレン管 配水管呼び径75mm 給水管呼び径50mm 1-4-2	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
特殊作業員		人					RA005	
普通作業員		人					RA010	
諸雑費		%						
合 計		箇所	1					

第7号 JZ00420 J01		制水弁/止水栓設置工 1箇所当たり単価表					PP用 制水弁/止水栓のみの取付 呼び径 φ 50mm	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
止水栓取付け工	PP用 止水栓のみの取付 呼び径50mm	箇所	1				第25号単価表	
合 計		箇所	1					

第8号 JS20956 J01		仕切弁・空気弁ボックス設置工 1箇所当たり単価表					ねじ式弁筐 A・B形 1号 底版有り 2-9-5	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
普通作業員		人					RA010	
合 計		箇所	1					

第9号 JS20396 J01 管明示シート工 100m当たり単価表							
2-3-16							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人					RA010
合 計		m	100				
単位当り		m	1				

第10号 JS20630 J02		管明示テープ工(ポリエチレン管布設工) 100m当たり単価表						呼び径50mm 2-6-4	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員				人					RA010
合 計				m	100				
単位当り				m	1				

第11号 SZD321 J01

舗装版切断 1m当たり単価表

アスファルト舗装版
15cm以下
全ての費用

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式]	超低騒音						
特殊作業員							RA005
土木一般世話役							RA125
普通作業員							RA010
ブレード (コンクリートカッタ)	径 1 8 インチ (4 5 c m)						
ガソリン	レギュラー スタンド						TSX32
積算単価		式	1				

第12号 JS80030 J01		舗装版取壊し積込工 100m ² 当たり単価表					舗装厚0cm超え10cm以下 1-1-3	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
土木一般世話役		人					RA125	
普通作業員		人					RA010	
バックホウ運転		時間					第26号単価表	
諸雑費		式	1					
合 計		m ²	100					
単位当り		m ²	1					

第13号 JS80000 J01

バックホウ掘削積込 100m3当たり単価表

1-1-1

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人					RA125
普通作業員		人					RA010
バックホウ運転		時間					第26号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				

第14号 JS80012 J01

管路埋戻(機械埋戻・バックホウ) 100m3当たり単価表

タンパ 締固め 砂

1-1-2

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人					RA125
普通作業員		人					RA010
バックホウ運転		時間					第26号単価表
タンパ運転(賃料)	60～80kg	日					第27号単価表
砂	クッション用	m ³	126				TCE36
諸雑費		式	1				
合 計		m ³	100				
単位当り		m ³	1				

第15号 JS80012 J02		管路埋戻(機械埋戻・バックホウ) 100m3当たり単価表						タンパ 締固め 発生土					
								1-1-2					
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
土木一般世話役				人								RA125	
普通作業員				人								RA010	
バックホウ運転				時間								第26号単価表	
タンパ運転(賃料)		60～80kg		日								第27号単価表	
諸雑費				式	1								
合 計				m3	100								
単位当り				m3	1								

第17号 S0020 A05 処分費 100m 3 当たり単価表 発生土							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
その他		m 3	100				
合 計		m 3	100				
単位当り		m 3	1				

第18号 JS80020 J02							
アスファルト塊処理 1m3当たり単価表							
DID区間無し 路面状態良好 運搬距離4.1km 1-1-6							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
アスファルト塊運搬費	DID区間無し 運搬距離4.1km	m3	1				第29号単価表
合 計		m3	1				

第19号 S0020 J01							
処分費 100m 3 当たり単価表							
アスファルト							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
アスファルト廃材処理費		m 3	100				T2604
合 計		m 3	100				
単位当り		m 3	1				

第20号 S0020 J02 処分費 100m 3 当たり単価表 舗装版切断汚泥							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
舗装版切断汚泥処分費	汚泥比重 1. 2 0 ～ 1. 1 0	m 3	100				
合 計		m 3	100				
単位当り		m 3	1				

第21号 JS80040 J05		路盤工 100㎡当たり単価表					舗装幅1.8m未満 再生クラッシャー RC-40 路盤厚45cm(3層) 1-1-4	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
普通作業員		人					RA010	
再生クラッシャー	R C - 4 0	m 3	57.15				TCF04	
タンパ運転(賃料)	60～80kg	日					第30号単価表	
諸雑費		式	1					
合 計		㎡	100					
単位当り		㎡	1					

第22号 JS80040 J01		路盤工 100㎡当たり単価表					舗装幅1.8m未満 再生クラッシャー RC-40 路盤厚40cm(3層) 1-1-4	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
普通作業員		人					RA010	
再生クラッシャー	R C - 4 0	m 3	50.8				TCF04	
タンパ運転(賃料)	60～80kg	日					第30号単価表	
諸雑費		式	1					
合 計		㎡	100					
単位当り		㎡	1					

第23号 JS80060 J01

舗装工(人力施工) 100m²当たり単価表車道及び路肩 t≤50
t=50mm エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)
1-1-8

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人					RA125
特殊作業員		人					RA005
普通作業員		人					RA010
アスファルト混合物	エコスラグ入り再生密粒度アスコン (20)	t	12.573				
アスファルト乳剤	P K-3 プライムコート用	L	126				TG402
振動ローラ運転	舗装用・ハンドガイド 普通型	日					第31号単価表
振動コンパクタ運転	前進型	日					第32号単価表
諸雑費		%					
合 計		m ²	100				
単位当り		m ²	1				

第24号 S0914 J01		交通誘導警備員の計上 1式当たり単価表					交通誘導警備員 B	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
交通誘導警備員 B		人・日	50				第33号単価表	
合 計		式	1					

第25号 JS53300 J02		止水栓取付け工 1箇所当たり単価表						PP用 止水栓のみの取付 呼び径50mm 1-4-4	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員				人					RA005
普通作業員				人					RA010
諸雑費				%					
合 計				箇所	1				

第26号 JS80003 J02							
バックホウ運転 1時間当たり単価表							
1-1-2							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手（特殊）		人					RA070
軽油		L	5.9				TSX24
バックホウ（クローラ型） [標準型]	排ガス 2 次	時間					
諸雑費		式	1				
合 計		時間	1				

第27号 JS80014 J01		タンパ運転(賃料) 1日当たり単価表					60〜80kg 1-1-2	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
特殊作業員		人					RA005	
ガソリン	レギュラー スタンド	L	5				TSX32	
タンパ (ランマ) 賃料		供用日						
諸雑費		式	1					
合 計		日	1					

発生土運搬費 10m3当たり単価表							
第28号 JS80022 J20		DID区間無し 運搬距離3.9km 1-1-6					
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック運転	割増なし 2t積級 良好	日					第34号単価表
合 計		m3	10				
単位当り		m3	1				

第29号 JS80022 J21		アスファルト塊運搬費 10m3当たり単価表					DID区間無し 運搬距離4.1km 1-1-6	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
ダンプトラック運転	割増なし 2t積級 良好	日					第34号単価表	
合 計		m3	10					
単位当り		m3	1					

第30号 JS80014 J02		タンパ運転(賃料) 1日当たり単価表					60～80kg 1-1-2	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
特殊作業員		人					RA005	
ガソリン	レギュラー スタンド	L	4				TSX32	
タンパ (ランマ) 賃料		供用日						
諸雑費		式	1					
合 計		日	1					

第31号 SX582 J01		振動ローラ運転		1日当たり単価表			舗装用・ハンドガイド 普通型	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕		供用日					MC246	
特殊作業員		人					RA005	
軽油		L	3				TSX24	
合 計		日	1					

第32号 SX610 J01		振動コンパクト運転		1日当たり単価表			前進型	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
振動コンパクト [前進型]		供用日						
特殊作業員		人					RA005	
ガソリン	レギュラー スタンド	L	5				TSX32	
合 計		日	1					

第33号 SA063 J01 交通誘導警備員B 1人・日当たり単価表							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
交通誘導警備員B		人					
合 計		人・日	1				

第34号 JS80026 J03

ダンプトラック運転 1日当たり単価表

割増なし
2t積級 良好
1-1-6

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手（一般）		人					RA075
軽油		L	21				TSX24
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		供用日					MA401
タイヤ損耗費	ダンプトラック	供用日					KP105
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				

第35号 JS51000 J01							
通水試験工 1日当たり単価表							
給水車不要 5-1							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					RA005
普通作業員		人					RA010
器具損料及諸雑費		%					
合 計		日	1				

工事名：令和8年度上石川配水管新設工事その2

[illegible]

数量計算書(管布設工・埋設シート・明示テープ・マーカerpin)

■管布設工・埋設シート

管 種	口径	施工延長	フランジタイプ		受挿タイプ		両受タイプ		管布設 延長	埋設シート 延長
			弁延長	制水弁数	弁延長	制水弁数	弁延長	制水弁数		
DIP(GX)	φ75	m－	(0.24 ×	+	0.49 ×	+	0.18 ×	) =	m	m
	φ100	m－	(0.25 ×	+	0.49 ×	+	0.18 ×	) =	m	m
	φ150	m－	(0.28 ×	+	0.55 ×	+	0.22 ×	) =	m	m
	φ200	m－	(0.30 ×	+	0.61 ×	+	0.26 ×	) =	m	m
	φ250	m－	(0.38 ×	+	0.68 ×	+	0.30 ×	) =	m	m
	φ300	m－	(0.40 ×	+	0.70 ×	+	0.40 ×	) =	m	m
	φ350	m－	(0.43 ×	+	／ ×	+	0.46 ×	) =	m	m
	φ400	m－	(0.47 ×	+	／ ×	+	0.50 ×	) =	m	m
DIP(NS)	φ450	m－	(0.50 ×	／ ×	※バツライ弁 0.47 ×			) =	m	m
小 計		m							m	m

管 種	口径	施工延長	フランジタイプ [°]		PE挿し口タイプ [°]		幼ニカル受口タイプ [°]		管布設 延長	埋設シート 延長
			弁延長	制水弁数	弁延長	制水弁数	弁延長	制水弁数		
HPPE	φ 50	m－	(0.18 ×	+	0.68 ×	+	0.15 ×	) =	m	m
	φ 75	m－	(0.24 ×	+	0.78 ×	+	0.17 ×	) =	m	m
	φ 100	m－	(0.25 ×	+	0.86 ×	+	0.18 ×	) =	m	m
	φ 150	m－	(0.28 ×	+	1.02 ×	+	0.25 ×	) =	m	m
	φ 200	m－	(0.30 ×	+	1.20 ×	+	0.26 ×	) =	m	m
小 計		m							m	m

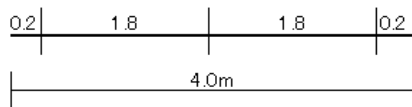
管 種		口径	施工延長	フランジタイプ°		砲金タイプ°			管布設 延長	埋設シート 延長
				弁延長	制水弁数	弁延長	制水弁数			
PE (二層管)		φ 50	535.0 m	— (0.18 × + 0.16 × 8 +)	×	×	×	533.7 m	533.7 m	
		φ 30		— (× + 0.11 × +)	×	×	×	m	m	
		φ 25		— (× + 0.11 × +)	×	×	×	m	m	
		φ 20		— (× + 0.11 × +)	×	×	×	m	m	
排 泥 管	PE (二層管)	φ 50		— (0.18 × + 0.16 × +)	×	×	×	m	m	
		φ 40		— (× + 0.11 × +)	×	×	×	m	m	
		φ 30		— (× + 0.11 × +)	×	×	×	m	m	
	VP	φ 50		— (0.18 × + 0.16 × +)	×	×	×	m	m	
		φ 40		— (× + 0.11 × +)	×	×	×	m	m	
		φ 30		— (× + 0.11 × +)	×	×	×	m	m	
小 計		535.0 m						533.7 m	533.7 m	
合 計		535.0 m						533.7 m	533.7 m	

■明示テープ

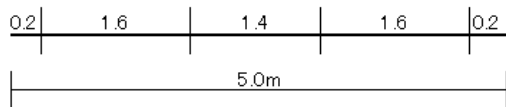
管 種	口径	直管の長さ (m)	直管1本当り (m)	施工延長 1m当り(m)	計 算 式	明示テープ 延長
DIP	φ75	4.0	1.31	0.33	$m \times 0.33 =$	m
	φ100	4.0	1.67	0.42	$m \times 0.42 =$	m
	φ150	5.0	3.18	0.64	$m \times 0.64 =$	m
	φ200	5.0	4.14	0.83	$m \times 0.83 =$	m
	φ250	5.0	5.12	1.02	$m \times 1.02 =$	m
	φ300	6.0	6.09	1.01	$m \times 1.01 =$	m
	φ350	6.0	7.05	1.17	$m \times 1.17 =$	m
	φ400	6.0	8.03	1.34	$m \times 1.34 =$	m
	φ450	6.0	8.98	1.50	$m \times 1.50 =$	m
HPPE	φ50	5.0	1.19	0.24	$m \times 0.24 =$	m
	φ75	5.0	1.70	0.34	$m \times 0.34 =$	m
	φ100	5.0	2.36	0.47	$m \times 0.47 =$	m
	φ150	5.0	3.40	0.68	$m \times 0.68 =$	m
	φ200	5.0	4.73	0.95	$m \times 0.95 =$	m
PE(二層管)	φ50	40.0	5.93	0.15	$533.7 m \times 0.15 =$	80.1 m
合 計						80.1 m

管明示テープ施工方法

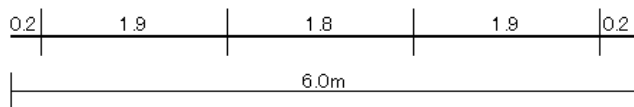
直管1本当り4.0mの場合



直管1本当り5.0mの場合



直管1本当り6.0mの場合



※注意事項

- 1) 明示テープは、1箇所当り1.5周(1巻半)巻き付ける。
- 2) 明示テープの施工間隔は、上記施工方法のとおりとする。
- 3) ポリエチレンスリーブ被覆工を施工する場合は、管に明示テープを直接巻き付け、スリーブは専用テープ又は専用バンドで固定する。
- 4) 上記の施工方法は、直管1本当りの場合であり、曲管については、中間に1箇所、T字管・十字管については、その全口数(全方向数)施工する。
- 5) ポリエチレン管(PE、二層管)φ50については2.0mに1箇所、施工する。
- 6) ポリエチレン管(PE、二層管)φ40mm以下、排泥管については明示テープは不要とする。
- 7) φ400以上の場合、管に巻き付けると共に天端にも施工する。

■マーカースピン

管 種	口径	計 算 式	マーカースピン個数
PE	φ50	始点(2)+25m毎(19)+異形管(2)+分岐(0)+終点(2)	25 個

■通水試験工対象延長

L= 535.0 m

土工数量計算 集計表

[illegible]

土工数量計算書

(市道B)

PEφ50

土被り L= 0.850m

A・B・C工区

土工延長 L = 314.00m ※85+1+40+188			種 別		数 量	単 位
掘削幅 0.600 掘削深 1.010 0.450 0.050 0.400 0.250 0.150 0.060 0.100 表層工 路盤工 RC40 良質発生土 砂 (クッション用) 土被り 0.850			舗装版切断工 (t≤15cm)	314.000 × 2 + 0.600 × 4 - 40.000 × 2	550.400	m
			舗装版直接掘削・積込 (t≤10cm)	0.600 × 314.000	188.400	m2
			バックホウ掘削積込 (BH0.28m³)	(1.010 - 0.050) × 0.600 × 314.000	180.864	m3
			人力床拵え工			m2
			砂埋戻工(BH0.28m³)	(0.600 × 0.310 - 0.003) × 314.000	57.462	m3
			発生土埋戻工 (BH0.28m³)	0.600 × 0.250 × 314.000	47.100	m3
			残土処理 (4tダンプ)	180.864 - 47.100	133.764	m3
			As塊処理 (4tダンプ)	188.400 × 0.050	9.420	m3
			舗装版切断濁水運搬・ 処理(2t車)	0.023 × 0.050 × 550.400	0.633	m3
			路盤工 (t=40cm) RC-40	0.600 × 314.000	188.400	m2
			表層工 (t=5cm) Rp-04	0.600 × 314.000	188.400	m2

土工数量計算書

(市道B(砂利))

PEφ50

土被りL= 0.850m

B工区

土工延長 L = 49.00m		種 別		数 量	単 位
掘削幅 0.600 掘削深 1.010 0.450 0.450 0.250 0.310 0.150 0.060 0.100 路盤工 RC40 良質発生土 砂 (クッション用) 土被り 0.850		舗装版切断工 (t≤15cm)			m
		舗装版直接掘削・積込 (t≤10cm)			m2
		バックホウ掘削積込 (BH0.28m³)	(1.010 - 0.000) × 0.600 × 49.000	29.694	m3
		人力床拵え工			m2
		砂埋戻工(BH0.28m³)	(0.600 × 0.310 - 0.003) × 49.000	8.967	m3
		発生土埋戻工 (BH0.28m³)	0.600 × 0.250 × 49.000	7.350	m3
		残土処理 (4tダンプ)	29.694 - 7.350	22.344	m3
		As塊処理 (4tダンプ)			m3
		舗装版切断濁水運搬・ 処理(2t車)			m3
		路盤工 (t=45cm) RC-40	0.600 × 49.000	29.400	m2
		表層工 (t=0cm) Rp-04			m2

土工数量計算書

(市道B(土砂))

PEφ50

土被りL= 0.850m

C工区

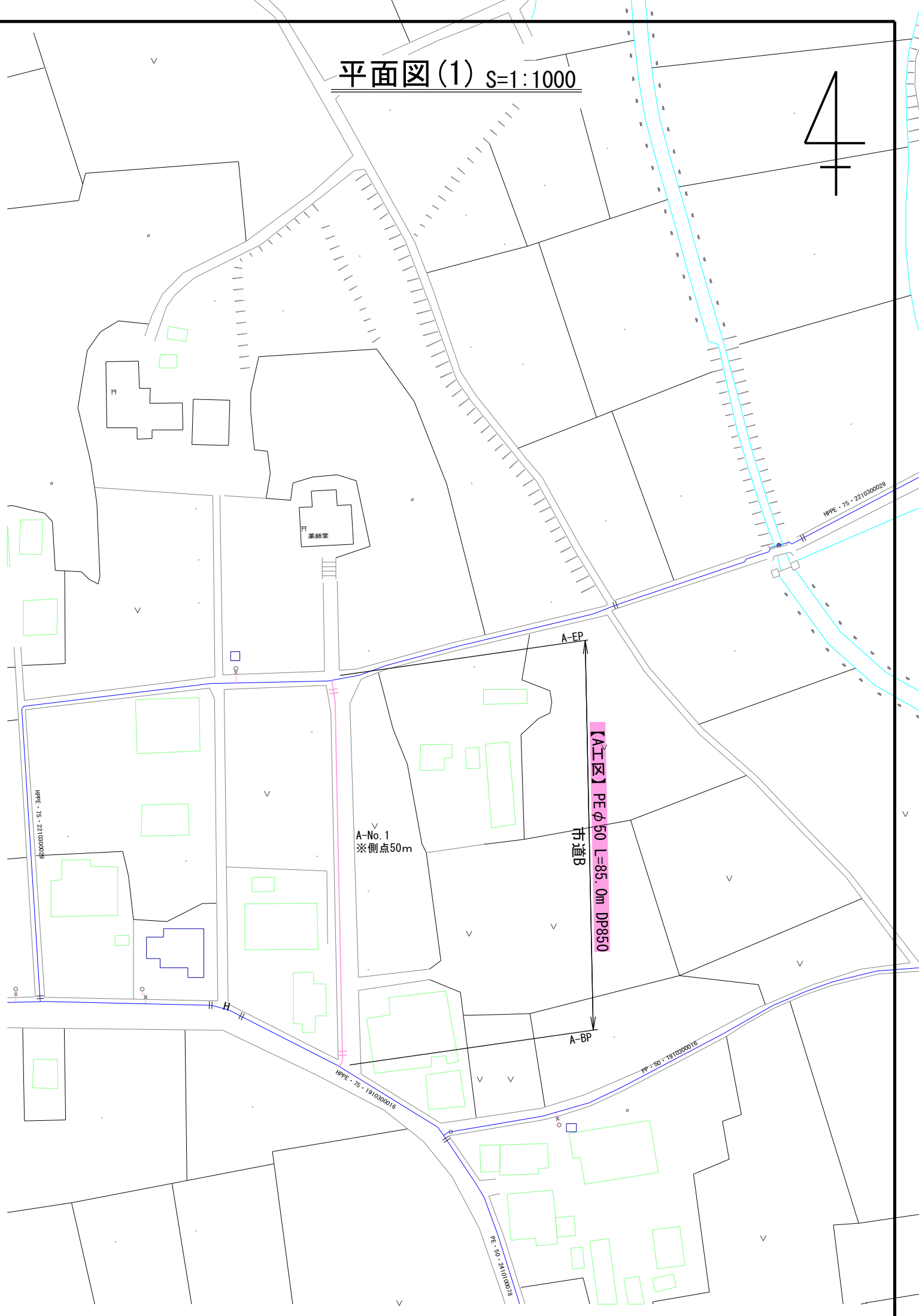
土工延長 L = 172.00m ※150+22			種 別		数 量	単 位
掘削幅 0.600 掘削深 1.010 0.700 0.310 0.150 0.060 0.100 良質発生土 砂 (クッション用) 土被り 0.850			舗装版切断工 (t≤15cm)			m
			舗装版直接掘削・積込 (t≤10cm)			m2
			バックホウ掘削積込 (BH0.28m³)	(1.010 - 0.000) × 0.600 × 172.000	104.232	m3
			人力床拵え工			m2
			砂埋戻工(BH0.28m³)	(0.600 × 0.310 - 0.003) × 172.000	31.476	m3
			発生土埋戻工 (BH0.28m³)	0.600 × 0.700 × 172.000	72.240	m3
			残土処理 (4tダンプ)	104.232 - 72.240	31.992	m3
			As塊処理 (4tダンプ)			m3
			舗装版切断濁水運搬・ 処理(2t車)			m3
			路盤工 (t=0cm) RC-40			m2
			表層工 (t=0cm) Rp-04			m2

位置図



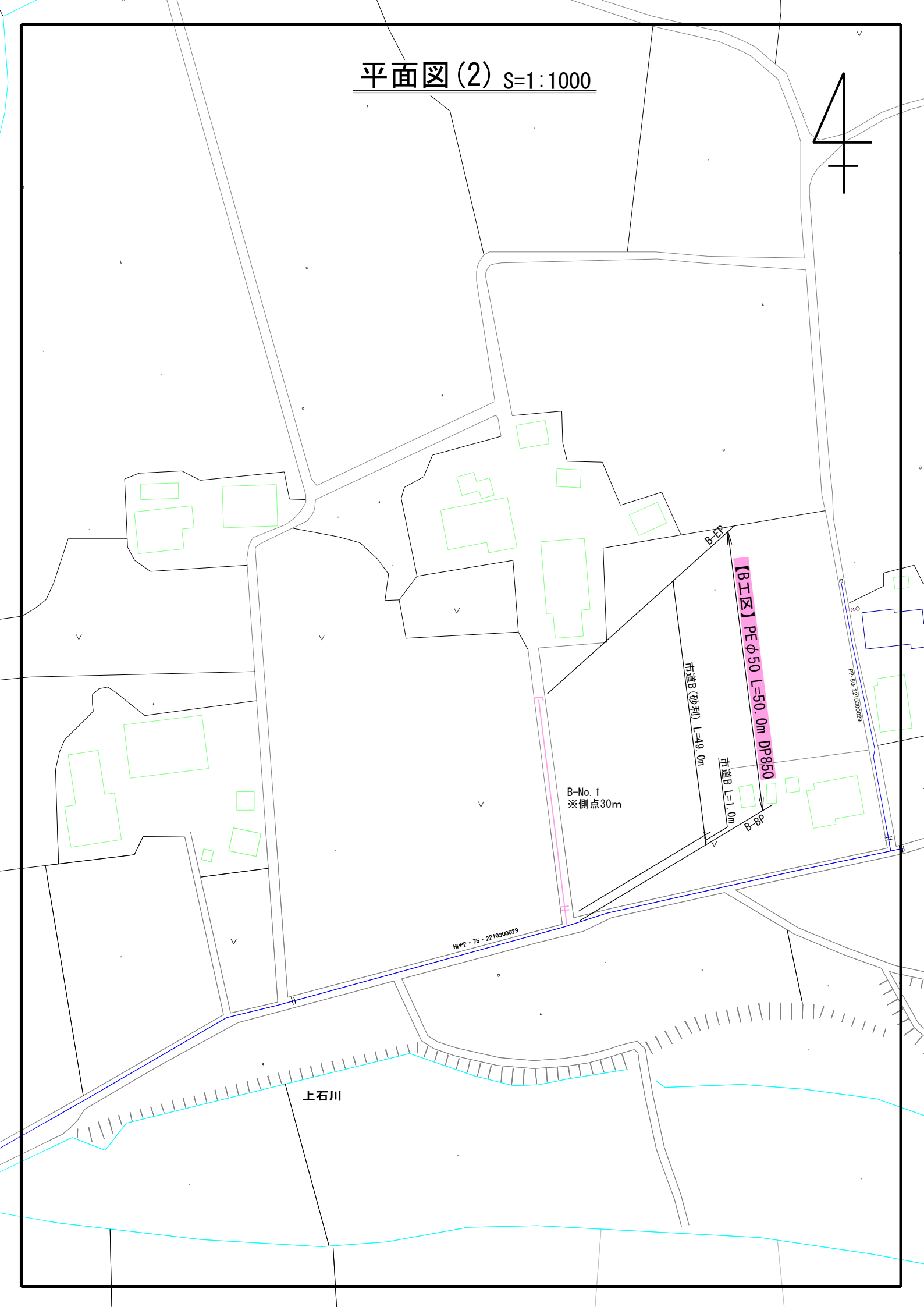
平面図(1) S=1:1000

4



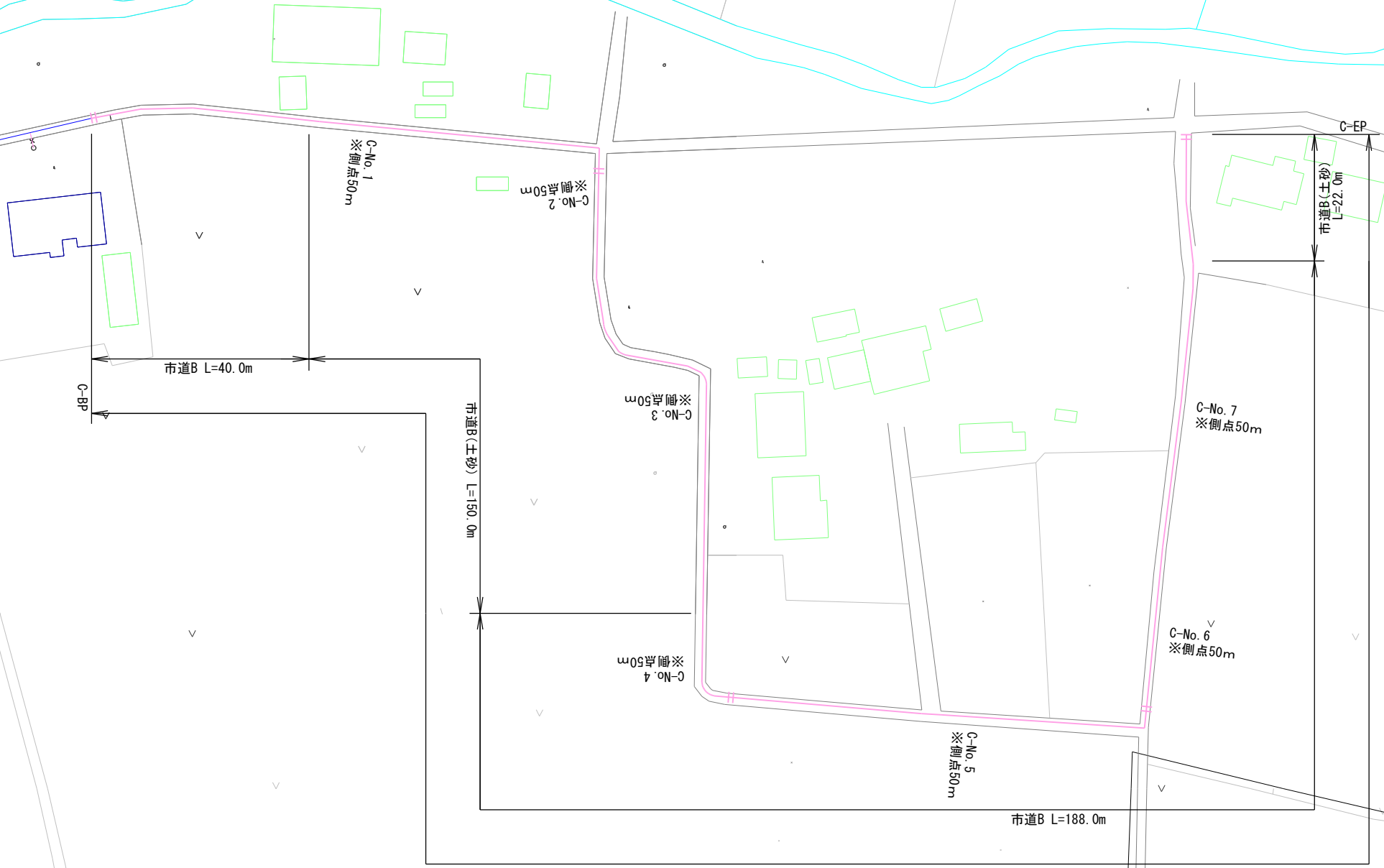
平面图 (2) S=1:1000

4



平面図(3) S=1:1000

4



C-No. 1
※側点50m

C-No. 2
※側点50m

C-No. 3
※側点50m

C-No. 4
※側点50m

C-No. 5
※側点50m

C-No. 7
※側点50m

C-No. 6
※側点50m

市道B(土砂)
L=22.0m

市道B L=40.0m

市道B(土砂) L=150.0m

市道B L=188.0m

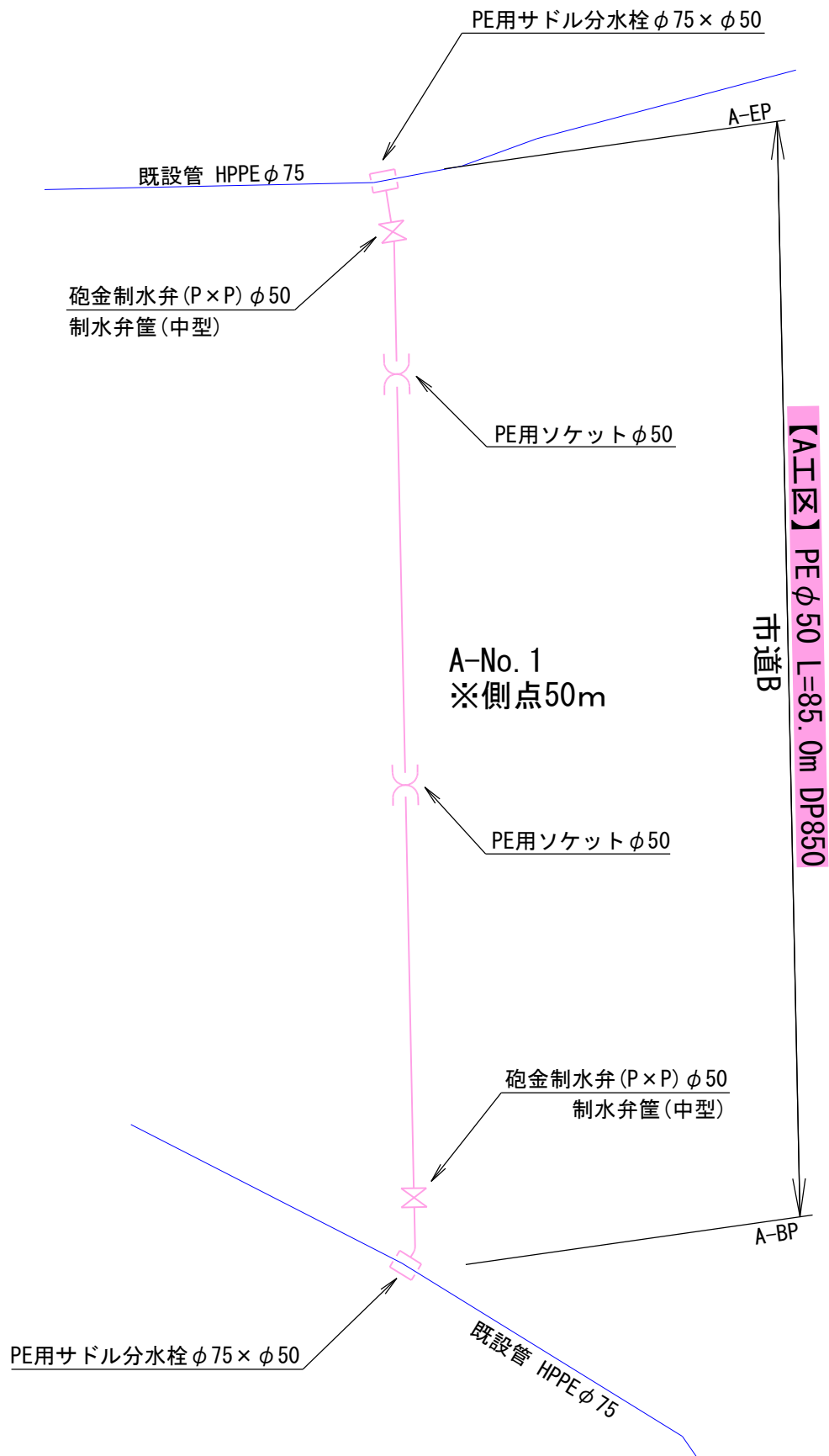
【C工区】 PEφ50 L=400.0m DP850

C-BP

C-EP

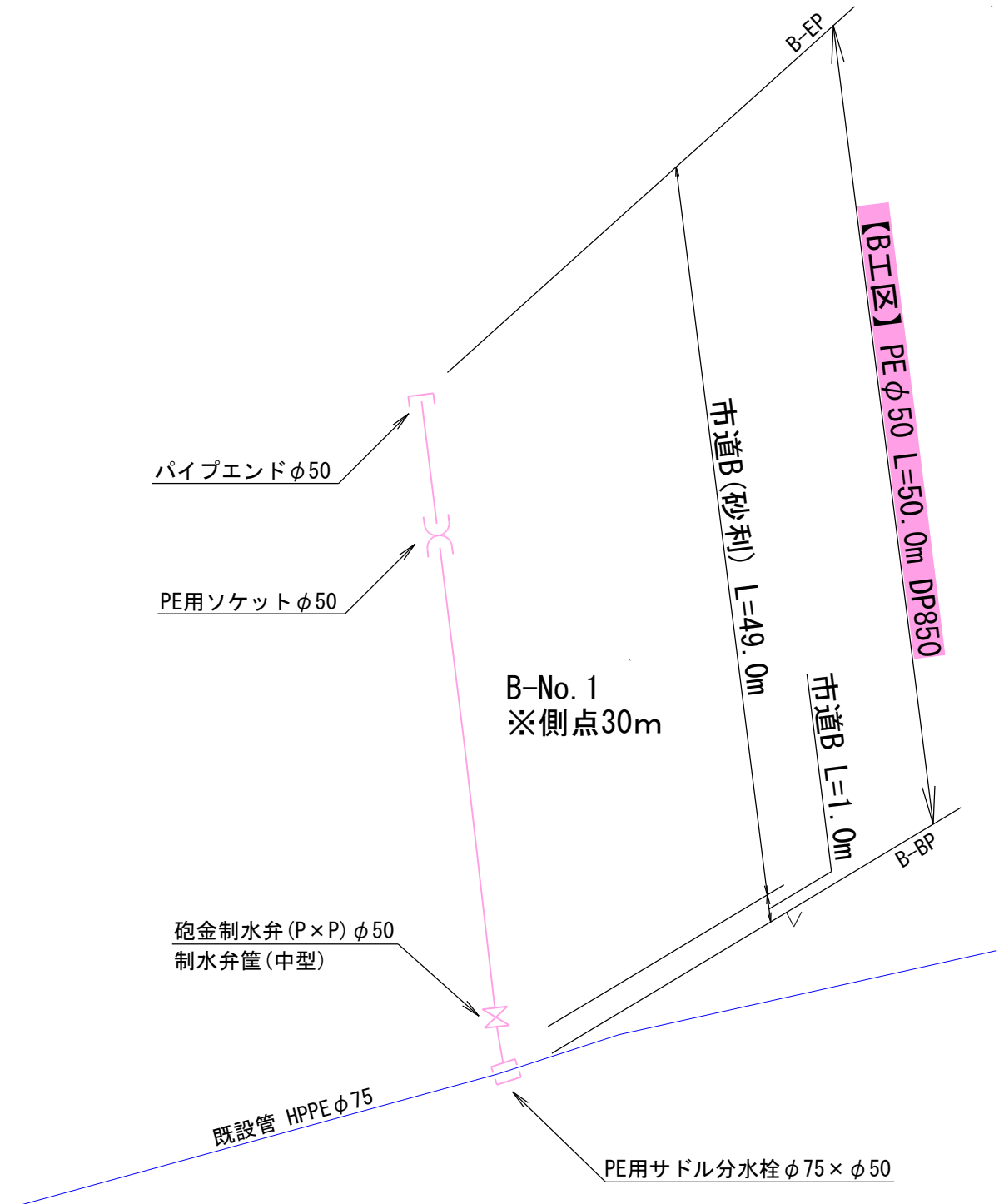
配管図(1) S=free

4

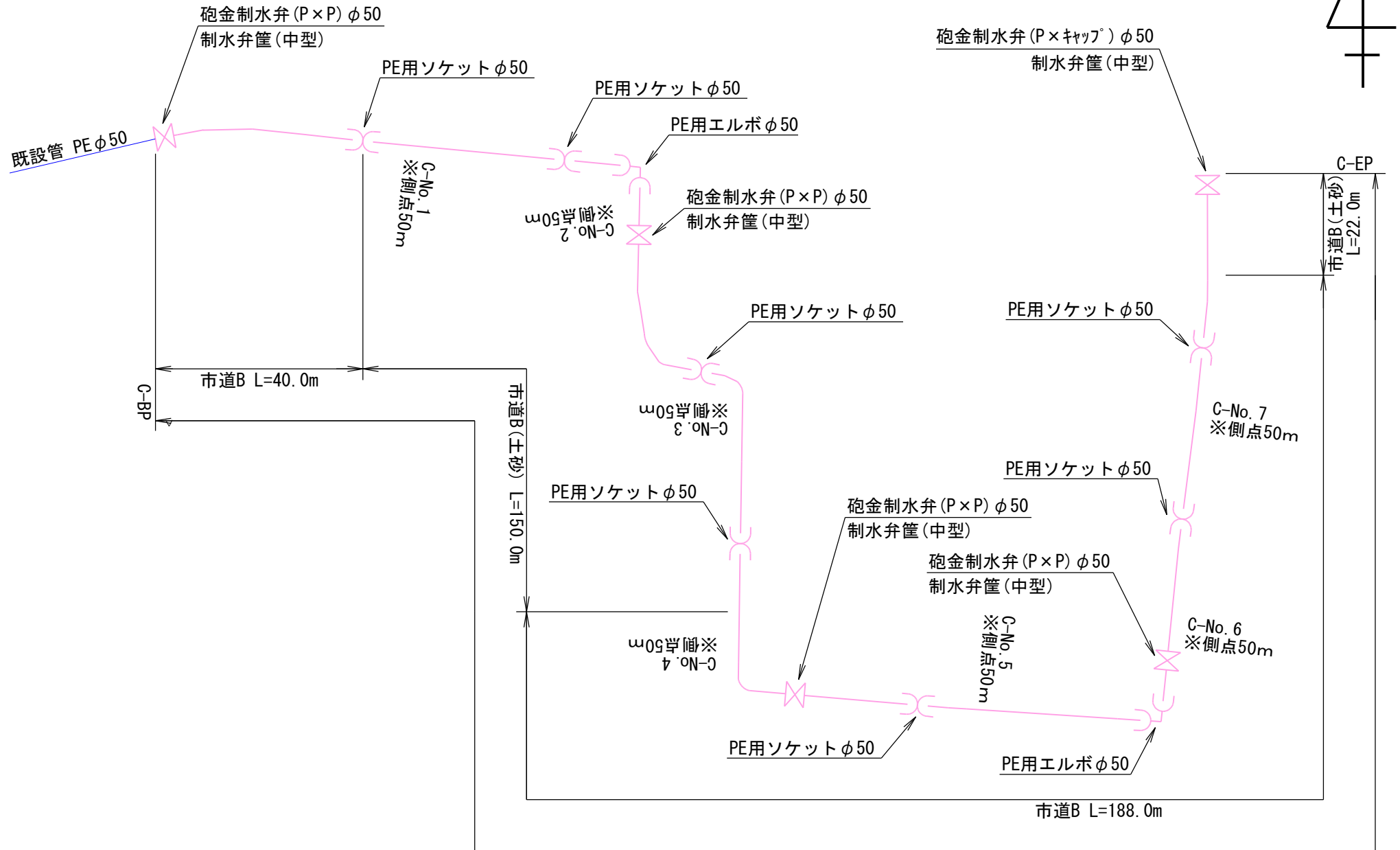


配管図 (2) S=free

4



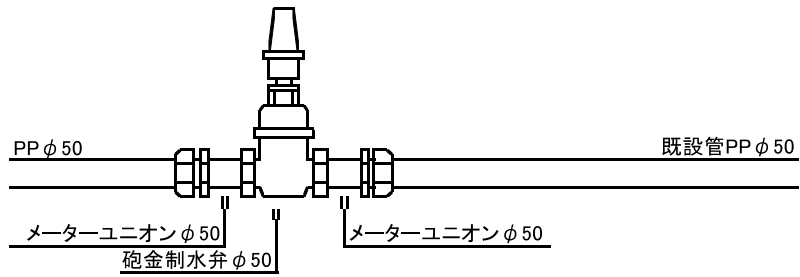
配管図 (3) S=free



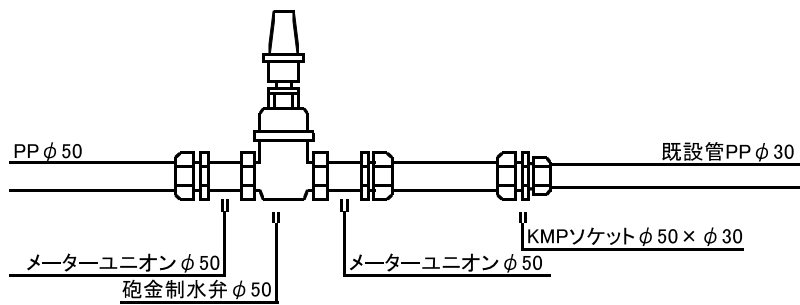
【C工区】 PE φ50 L=400.0m DP850

砲金制水弁設置施工図

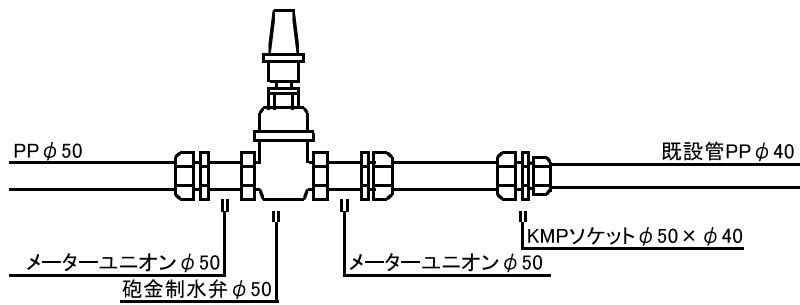
P × P φ 50



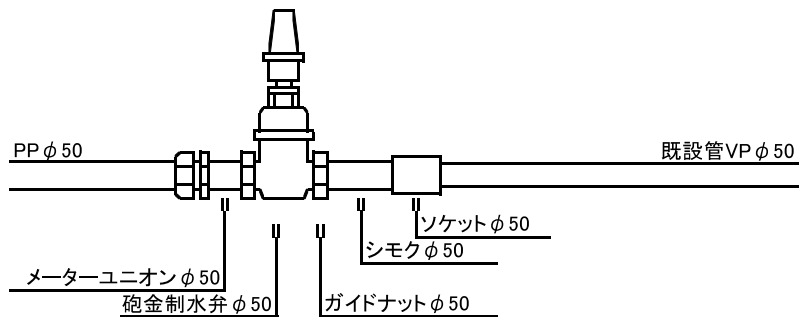
P × P φ 50 × φ 30



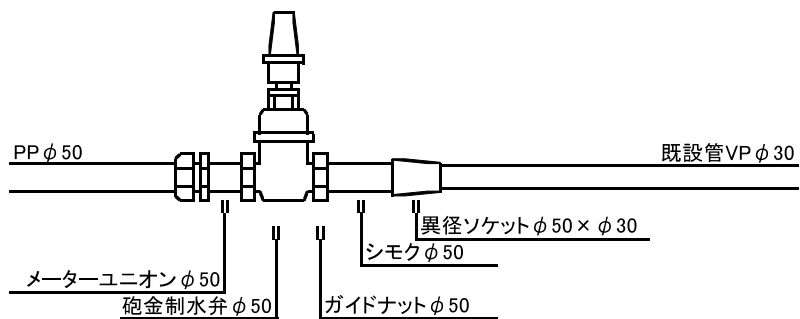
P × P φ 50 × φ 40



P × V φ 50



P × V φ 50 × 30



P × V φ 50 × 40

